



国際室 だより

No. 42

22の瞳が語る日本と日本人

私はこれまでにたくさん日本についての話を聞き いろいろと想像したことがありました。なぜなら日本は韓国に最も近い国だからです。来日以前 私は日本は第2次大戦後すぐに復興した世界で最も発展した国でそして韓国は多くの分野で最も日本と関係の



深い国であると考えていました。来日してみてこれが本当であるということを確認しました。確かに日本国内はすべてが良く整備されていて日本は大きな力を秘めているのだなと思いました。しかし日本の文化習慣は韓国のそれと非常に類似しています。そのため私は時々自分が日本にいるということを忘れてしまいます。来日して2カ月半がすでに過ぎ 私は今日本に対し大変親近感をおぼえるようになりました。日本人々は大変親切で 行儀が良いように思えます。私は日本の親切さと日本の平和がいつまでも続くことを期待しています。

(リー・韓国)

日本の経済 技術の発展は世界のすべての国で良く知られた事実であります。

しかし この発展を支えた日本人々については章を改めなければなりません。

今日 日本は特に第2次大戦後の大きなそして急速な技術発展のために多くの国から注目を集めています。

そして 世界の人は現在に至った日本を手本として日本人のやり方 方法について学ぼうとしています。

教育は社会発展のために重要な役割をなしますが 日本では非常に高度な教育システムが整い 高い教育効果をあげています。そして 日本はそれ自身の歴史的経

験を踏えて学習を行っており 将来においても大きな成果をあげることができるものと考えます。私の個人的な意見として国防から経済発展へとその力を変換したことが 今日の日にとって非常に賢明な方法であったと思います。多くの国ではこのような方法に気付かなかったし また このような決定を下すのすたためらいを感じているようです。“It is the people who choose their fate” という有名な言葉がありますが この言葉は総じて日本人々にうまくあてはまるようです。日本人々は一生懸命働くだけではなく すべてのことを良く理解しています。また その誠実さこそ日本の日々の繁栄を導く力だと思えます。

日本政府の研修員として来日できたことは 私にとって 日本 日本人を知る良い機会でもあります。私は日本 および日本人に対し少なからぬ好感をいだきました。しかし 来日直後(来日して76日目)でもあり 日本全体について公正な意見を述べるには 少し時間がたりないようです。

来日して以来 私が滞在しているつくば市を含め 東京 新潟 長岡 伏木 北海道を訪れました。北の島 北海道には管理のゆきとどいた湖 青々と草木の繁った丘 特別指定区域などがあり 観光地として大変すばらしいところです。北海道開拓記念館と夕張石炭博物館における北海道の開拓史の展示は大変おもしろく 興味深く見学しました。私のような外国人でさえ ここでの見学の後には北海道の開発の様子が良く理解できました。

(ムーサ・パキスタン)

日本人は熱心でひたむきな国民のように私には思えます。これは 第2次大戦後すぐに世界の最強経済大国として急速に浮上し 発展を遂げたことから理解できます。日本人は平和を愛し 日本人々にと



って第2次大戦時の広島原爆投下は容易に忘れえぬ出来事のように。だから路傍のいたるところで“平和

を広げよう”というような碑文を目にすることができます。また日本の人々は、大変恥かしがり屋のところがあり、手助けが必要な場合、手助けに全力を出しきるまでに多少時間がかかります。豊さと西欧文化にもかかわらず、日本の人々は、まだ自身の伝統を守っています。これは称賛に値することであり、そして日本の人々のハードワークぶりは是非見習うべきであると思います。

(マラー・シェーラ レオーネ)



私は1988年5月に日本に到着しました。成田空港と東京シティーターミナルで私は友人を待ちうける多くの日本の人々を見ました。これには大変驚かされました。なぜならこれは古い習慣で、日本のよう

な超近代工業国の人々にはこのような習慣はすでになくなっていると考えていたからです。

約3カ月日本に滞在して私は日本の人々の親切さと穏やかさに強く印象づけられました。夜車の運転手は赤信号のための交差点でストップした場合必ずライトを消します。このことから日本の人々が如何に礼儀正しいかが解ります。美しい自然が残る農村部では日本の家々は周りの景観に打ち解け、周辺の自然環境を破壊することなく実に良く調和しています。これは大変すばらしい景観であり、日本の人々が如何に自然に対して注意を払っているか窺い知ることができます。残念なことに、もっと日本語が理解できたなら日本の生活文化、社会についてもっと知識を増すことができるのですが。

(チャトラパッポン・タイ)



ベネズエラでは、特に日本のカメラ、電気製品、4WDの車が有名です。また今年ベネズエラ大統領の訪日があり、ベネズエラのテレビネットワークで日本についての報道がなされました。しかし、一般の

ベネズエラ人の日本文化、社会に関する知識は大変低いようです。最初に成田空港に降り立った時には日本の人々が外国人に対しどのような反応を示すのか多少不安を感じました。しかし、極めて礼儀正しく、親切で面倒見のいい人々を目にすることができ大変嬉しく思いました。日本に来て約2カ月が過ぎ、北海道、東北を旅した今、私は日本という国が良く理解でき、大変好感を持ちました。正直なところ日本の主たる資源は、働き者

で良く教育された、親切で礼儀正しく、面倒見のいいその国民だと言えます。

他方“ohkii” “takai” しかし“tanoshii” 東京と“chiisai” “shizuka” しかし“Omoshiroi” つくばの街とのコントラストには驚かされます。両者の間はほんの数10km離れているだけです。また人々が自然と調和して生活している北海道は“subarashii”。結論として日本は外国人が大いに楽しむことができる美しい自然景観を備えた超近代国家であると言えます。“domo arigato gozaimasu”

(フランコ・ベネズエラ)



東京には美しい公園、美しい場所がたくさんありますが、東京の人々は常に働くために走り廻っているようです。一般的に見て、日本の人々は礼儀正しく親切ですが、北海道の人々は東京の人々よりさらに礼儀正しく

親切です。彼らは積極的に外国人を知ろうとしています。北海道は湖、山々などが実に美しい所です。

そして、気候も東京よりはいいようです。少なくとも夏の間は。

(フローレス・メキシコ)

以上11カ国22の瞳に写った“日本と日本人”について御紹介しましたが、来日ホヤホヤでもあり、湯気で多少眼鏡が曇り充分に見透せなかったところもあったようです。来日後6カ月を経過した現在、眼鏡の曇りも取れ、またこれとは異なる印象を持った人もいますようです。いずれにせよ我々日本人が日頃眼にし気付かない点でも22の瞳には新鮮に写り“そうだったのかな”と改めて思い直すところもあって大変興味深く感じました。

(文責・木下)

地質ニュース	第413号	1月号
	定価 560円	千実費
昭和64年1月1日	発行	
編集	工業技術院地質調査所	
発行人	林久雄	
発行所	株式会社実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	〒102	
	Tel. (03)265-0951 (代表)	
	振替口座 東京1-32466	
	麹町局私書箱第21号	
総発売元	株式会社実業公報社	

©1988 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都中央区錦八重州ブックセンター本店に常備してあります。